

第 17 回たじみ子ども会議「意見書」 けんとうけ っ か ほうこくしょ 検討結果報告書



平成 27 年 12 月

多治見市

もくじ 目次

けんとうけっかほうこく 検討結果報告

1. ^{だれ}誰もが^す住みやすいまち
^{ひと}人と^{ひと}人とのつながりがある多治見市
2. 多治見のよさ = ^{とうき}陶器のよさをアピール
3. ^{こぞだ}子育て^{しえん}支援

さんこうしりょう 参考資料

^{だい}第17回^{かいぎ}たじみ子ども会議「^{いけんしょ}意見書」(^{うつし}写)

ていあん だれ 提案1. 誰もが住みやすいまち

ひと ひと
人と人とのつながりがある多治見市

(1) バリアフリー

- ・段差をなくし、お年寄りも安心して暮らせるまちに

(2) 障がいを持っている人も安全に暮らせるまち

- ・スロープをつくる
- ・多治見に住み続けるための環境
- ・道の整備
- ・街灯をたくさん設置してほしい

し 市の考え・対応

- (1) 高齢者や障がいを持つ人だけでなく誰もが便利に、安全に移動したり施設を利用したりできるように、階段や段差をなくすための法律「バリアフリー新法」をもとに、高齢者や障がいを持った人などの意見を聴いて「多治見市バリアフリー基本構想」を平成25年3月に作りました。

この基本構想では、JR多治見駅周辺を重点的に整備する地区と決めて、平成25年度にそれぞれの事業者が具体的な整備目標と時期を決めた計画を作って、整備しています。また、市役所駅北庁舎や星ヶ台保育園など新しい公共の建物や道路などは、決められた基準に合うように建設しています。

バリアフリーをすすめていくのには、長い期間が必要な事業もあります。事業計画を実現する間にさらに高齢化がすすむと、バリアフリーに対する要望がもっと出てくると予想できます。そのためにも、バリアフリー推進協議会が、事業計画のとおりきちんと整備されているかを調べたり評価したりして、より良いバリアフリー化をすすめています。

重点的に整備する地区（JR多治見駅周辺）をはじめ、市全域でバリアフリーをすすめていきます。そのためには、市民のみなさん、民間事業者と市がそれぞれの役割を理解し、お互いに協力してバリアフリー化に努力するものとしています。多くのいろいろな市民が利用する施設やお店などを、だれもが安心して心地よく利用できるまちを目指し、同時に障がいを持つ人について正しく理解し、行動ができる「こころのバリアフリー」もすすめています。

と し せい さく か
(都市政策課)

※事業者：バリアフリーをすすめる整備を行う個人、会社、市など

※バリアフリー推進協議会：バリアフリー基本構想をすすめ、バリアフリーに関する計画をつくったり、きちんと実施されているかチェックする協議会

- (2) 多くのいろいろな市民が利用し、生活にとっても関係のある施設では、スロープや手すりの設置などの簡単なバリアフリー化に、必要なときに取り組んでいます。

(都市政策課)

高齢者や障がいを持つ人をはじめ、市民のみなさん誰もが公共的施設を安心して利用できるように、バリアフリーの基準を決めた「多治見市福祉環境整備指針」をつくっています。

公共的施設を新しくついたり、直したりするときには、この指針をもとにスロープや手すりを設置しています。

(福祉課)

※公共的施設：多くのいろいろな市民が利用する施設

ていあん 提案2. 多治見のよさ＝陶器のよさをアピール

- (1) 陶器をアピールするために、話題性のあるイベントで人を集める。
- (2) 多治見駅周辺に陶芸の体験ができるところをつくって、美濃焼を広める。
- (3) 永保寺とコラボして、陶器を使ったイベントをすることで、多治見のよさと陶器のよさをアピールする。

市の考え・対応

- (1) 春には、「たじみ陶器まつり」を本町オリベストリートでおこない、2日間で約20万人のお客さんがやってきます。このまつりでは、地域の人たちの手づくりのイベントとして、大道芸やオープンカフェなども一緒におこないます。ほかにも、「市之倉陶祖祭」「幸兵衛窯蔵出し市」という窯元めぐりなどを楽しむことができるイベントをおこなっています。また、秋には「美濃焼祭」「たじみ茶碗まつり」「陶の里フェスティバル」などをおこない、30万人以上のお客さんがやってきます。
- (2) ながせ商店街の「カフェ温土」の中には、陶芸体験ができる施設があり、観光客が訪れます。
- (3) 平成27年10月に永保寺にて、アーティストとミュージシャンと一緒に、ものづくりイベントをおこない、多治見市のよさをアピールしました。
(これに似たイベントは、平成25年からおこなっています)

さんぎょうかんこうか
(産業観光課)

ていあん こそだ しえん 提案3. 子育て支援

こそだ かんきょう 子育てしやすい環境

- (1) イクメン
- (2) しょくば ほいくしょ
職場に保育所を
- (3) 子どもを預かってもらえるところを
- (4) じょうけんつ おやかてい いりょうひむりょう
条件付き（ひとり親家庭のみなど）で医療費無料

市の考え・対応

- (1) ちちおや いくじ さんか こ う まえ かんが
父親が育児に参加することは、子どもが産まれる前から考えてほしいことです。
ほけん しゅっさん ちしき こころ あか せ わ ふうふいつしよ まな
保健センターでは、出産の知識や心がまえ、赤ちゃんの世話などを夫婦一緒に学ぶマ
まパパスクールをおこなって、父親にも育児への意識を高めてもらおうとしています。
また、にゅうようじ おや じゅう す ちいき こそだ しえん ちちおや
乳幼児とその親が自由に過ごすことができる地域子育て支援センターでは、父親
たいししょう こそだ こうざ
を対象にした子育て講座をおこなっています。
※ちいきこそだ しえん
地域子育て支援センター：いつもかいほう せんよう
開放された専用ルームで、おもちゃなどで遊ぶことができる。えほん か
絵本の貸し出し、いくじそうだん いちじほいく おやどうし こうりゅう
だしや育児相談、一時保育、親同士の交流、イベントをおこなっている。
- (2) じゅうぎょういんむ ほいくしょ じぎょうしょ しな い わ かず
従業員向けの保育所がある事業所が市内にいくつあるかわかりませんが、その数はと
ても少ないと思います。ほいくしょ おも せっち たてもの せいび ほいくし きゅうりょう
保育所を設置するためには、建物の整備や保育士の給料などい
ろいろな費用が必要で、じぎょうしょ けいえいしや ほうしん ほいくしょ せっち
事業所の経営者の方針によって保育所を設置するかどうかが決ま
るからです。
こんねん と し じゅうぎょういん こそだ しえん と く じぎょうしょ いけんこうかん
今年度、市では、従業員の子育て支援に取り組んでいるいくつかの事業所と意見交換
かい かい
会をおこないました。また、国からの呼びかけもあり、事業所の従業員に対する子育て
しえん と く こんご ちゅうもく おも
支援の取り組みが、今後ますます注目されると思います。
ほいくしょ せっち じつげん すこ けいえいしや こそだ しえん たい いしき
保育所の設置はすぐには実現しませんが、少しずつ経営者の子育て支援に対する意識
たか
が高まっていくことに期待しています。
- (3) し きゅう ようじ こ あず きぼう ほごしや ほいくえん いちじあず
市では、急な用事で子どもの預かりを希望する保護者のために、保育園での一時預か
りやファミリーサポートセンター事業をおこなっています。また、みんかん たくじしよ しょうかい
民間の託児所も紹介
していますので、預かる場所や機会は充分にあります。
こ あず ぼしよ ふ べんり かんたん こ あず ほごしや ふ
子どもを預ける場所が増えれば便利にはなりますが、簡単に子どもを預ける保護者が増
えることも心配されます。ほごしや ほごしや こ あず あんしん はたら かんきょう
保護者が子どもを預けて安心して働ける環境づくりとともに、
ほごしや いくじ てばな けいはつ ひつよう
保護者が育児を手放さないような啓発も必要です。

こ 子ども しえん かん
(子ども支援課)

※ファミリーサポートセンター：保護者が仕事や病気のために子どもの世話、保育施設などの送り迎えなどができない時に支援する事業。「子どもを預かってほしい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」が会員になって、地域の子育てを支援する組織。

- (4) 所得によって制限はありますが、ひとり親家庭の子どもの医療費の助成を実施しています。

ほけんねんきんか
(保険年金課)

※子ども：18歳になって最初の3月31日まで